

## 第 90 回 全国健康保険協会千葉支部評議会 の概要報告

開 催 日	平成 29 年 6 月 20 日 火曜日 14:30～ 16:00
開 催 場 所	日本生命千葉富士見ビル 6 階会議室
出席者	飯田評議員、小賀野評議員、桐谷評議員、椎名評議員、高原評議員、松澤評議員、松本評議員、(五十音順)
議 題	1. 平成 28 年度千葉支部事業報告について 2. その他報告事項について

議 事 概 要 (主な意見等)
--------------------

### 支部長挨拶

\* 第 90 回千葉支部評議会にご出席いただきありがとうございます。今回の議題として、平成 28 年度千葉支部事業報告についてご説明させていただきます。各グループの前年度取組結果を踏まえて、皆様からアドバイス・ご意見等をいただければ幸いです。

さて、千葉支部ではデータヘルス計画の一環として事業所訪問を行っているところですが、訪問した経験から気になった点をご紹介します。ここ半年程度で事業所の健康経営に関する意識が急速に高まっていることを以前お話いたしました。中でも従業員のメンタルに関して悩みを抱えている事業所が思っている以上に多いと感じています。産業医等がいる大規模事業所なら対処のしようもありますが、協会けんぽのように中小規模の事業所がほとんどの場合は、非常に対応が困難なものです。千葉県が 2 年に 1 度生活習慣調査を行っていますが、直近の平成 27 年の調査結果では心の健康度は低下傾向にあるものとなっています。また、全国平均よりも大きく下回っていることも確認できます。我々の健康な職場づくり宣言活動において、メンタル面についても考慮しなければならない時期かと思えます。第 2 期データヘルス計画が来年度からスタートするので、千葉支部としても何らかの形で盛り込みたいと考えております。今回の議題から少し離れた挨拶となりましたが、このような点でも千葉支部として健康づくりを推し進めていきたいと思えます。本日も皆様からの忌憚のないご意見をよろしくお願ひします。

\*

### 議事概要

#### 1.平成 28 年度千葉支部事業報告について

■資料 1：平成 28 年度千葉支部事業報告について

#### 《事務局説明概要》

平成 28 年度の適用事業所数や加入者数の伸び率が、千葉支部は全国平均伸び率の倍以上という結果となりました。加入者の増加に伴い、保険給付費や診療費の伸びも全国平均以上に伸びています。このような背景を前提に平成 28 年度千葉支部事業について、各グループから

次の通り報告いたします。

(以下抜粋)

## <企画総務グループ>

### ➤ 健康経営普及促進に向けた事業所訪問及び健康な職場づくり宣言

健康経営の普及に向けて、28年度は目標 180 事業所の訪問に対し、216 事業所の訪問を行い、宣言も 169 事業所となりました。宣言数は 29 年度末までに 330 事業所以上を目指しているところです。他にも県内商工会議所や千葉市と連携し健康経営セミナーを開催することで意識醸成を図りました。

### ➤ ジェネリック医薬品使用率

軽減額通知の送付や薬剤師会と連携しお薬手帳カバーの作成等を行いました。目標として、全国平均+1%以上を掲げていましたが、現状全国 70.5%に対し千葉支部 70.2%（前年度比+5.4%）の結果となっています。引き続き、ジェネリック医薬品の使用促進に向けた策を展開してまいります。

### ➤ 自治体及び関係団体との関係構築と意見発信

千葉県、千葉市と連携し各種イベントを行う等、地域の健康づくりに取り組みました。また、県商工会議所連合会、県商工会連合会、県中小企業団体中央会、健保連と健康経営に向けた連携協定を締結するに至り、オール千葉として健康づくりに資する体制づくりを構築しました。

## <保健グループ>

### ➤ 生活習慣病予防健診

28年度は民間業者による電話での受診勧奨や健診機関による受診勧奨業務委託を活用することで、164,892 人（前年度比+12,421 人）の受診者数となりましたが、目標である 177,848 人には届きませんでした。引き続き効果的な勧奨を行ってまいります。

### ➤ 特定健康診査

被扶養者に対する特定健康診査では、市のがん検診との同時実施や協会けんぽ独自の集団健診を実施することで、より多くの方に受診してもらうように働きかけました。受診者数は目標の 19,915 人に対し、19,883 人（前年度比+1,244 人）となりました。被保険者同様、受診率向上のため、幅広く事業を進めてまいります。

### ➤ 被保険者特定保健指導

特定保健指導未実施事業所への勧奨や外部委託機関を通じて積極的な呼びかけを行うことで 5,135 人（前年度比+564 人）の実施となりましたが、目標は 6,249 人であり達成には至りませんでした。引き続き今年度も健診事業と併せて目標達成に向けて取り組んで

まいります。

## <業務グループ>

### ➤ サービススタンダード達成率

昨年度申請書のスキャン漏れがあったため、99.96%の結果となり 100%の達成には至りませんでした。下半期は体制を整えて、事務処理誤りを未然に防ぐ等工夫を図り 100%を達成できました。

### ➤ 適正な給付業務の推進

柔道整復療養費にかかる多受診者等を中心とした、患者照会を実施することで、適正な給付業務を図ります。28年度は目標 3,800 件のところ、5,386 件実施し 123%という大幅に目標を超えて達成しました。

## <レセプトグループ>

### ➤ 保険証の回収率

早期回収に向けたチラシの配布により、一般 95.62% 任継 94.90%の回収率となりました。回収率 100%を目指し、周知等広報を手広く活用してまいります。

### ➤ 診療内容等査定効果額の向上

点検員のスキルアップ・支払基金との協議で疑義がある原審事例の解消・自動点検マスタをメンテナンスできる点検員の増加による精度向上等を通し、平成 28 年度は加入者 1 人当たり効果額 181 円を達成しました。目標値が 155 円だったため、大きく目標を上回った結果となります。

## 《主な意見・質問等》

◆インセンティブに関して公平な負担の観点についてだが、データをどのように現役世代の方に表現するかが重要かと思う。健康づくりをしっかりと取り組んでいる事業所もあれば、そうでない事業所もある。たださえ、高齢者への拠出金は上がる一方であり、現役世代がどれだけ健康づくりに取り組み医療費を抑えようとしても、その差が埋まる見込みは無いと感じる。その中で、しっかりと取り組んでいる事業所がどんなに頑張ってもインセンティブ（保険料率に反映されない）を受けられないのであれば、「やっただけ損」と捉えられてしまうのではないだろうか。そうならないためにも行ったことを「見える化」することで、どれだけ事業主・加入者の方に取り組む意欲を持ってもらえるかが大事だと考えているが、支部としての意見を伺いたい。《被保険者代表》

⇒協会けんぽでは、各支部の数値差は多少あれども大きくあるわけではないため、インセン

タイプにより格差が更に広がることはほとんどないものと思う反面、仰る通り競争性の導入に伴い支部でこれまで築き上げてきた健康づくりに関する取り組みが否定されかねないことの危険性も孕んでいるものと思います。ただ、インセンティブにどれだけの幅を利かせるかは現段階でも調整中であり、どれだけの影響があるかも不透明であります。千葉支部としては、健康な職場づくり宣言事業を「見える化」の大きな仕掛けとしたいと思っています。職場の健康づくりについては、インセンティブの視点だけではなく、将来的な自己投資と考えてもらえる方向に持っていきたいと考えています。現状、千葉支部は健診事業やジェネリック等の取り組みが、全国平均より少し下に位置しておりますが、健康な職場づくり宣言事業を広く普及させていき、少なくとも平均程度に持っていきたいという思いでございます。

**◆協会けんぽと労働局で働き方に関する取り組みを連携事業として行うのはどうだろうか  
《被保険者代表》**

⇒労働局との連携は以前より考えていました。例えば、千葉支部の HP には健康な職場づくり宣言を行った事業所を掲載しており、事業所名をクリックすると同社の HP へ繋がる仕掛けとなっています。ハローワークの HP でも同様なことを行えば「従業員の健康を意識している事業所」として多くの求職者の方へ有益な情報を発信することができるのではないかと思います。あくまで一例で、まだ具体的な話はしておりませんが、労働局との連携も視野に入れながら各種事業を展開してまいりたいと考えています。

**◆健診関係の目標設定についてはいつも高すぎるのではないかと感じているが、健診事業の目標を達成している支部はあるのか。《被保険者代表》**

⇒目標達成している支部は数支部あります。その支部を見習って伸ばしていきたいところですが、地域により健診機関の温度差があったり、体制が違う等の課題があり、同じことをしても早期に目標達成というわけにはいかない側面があります。しかしながら、参考になる点がありますので、上手く取り入れることで千葉支部も伸ばしていきたいと思っています。

**◆食育・福祉の観点から子供の頃からの健康教育が非常に重要だと考えている。健康教育はすぐに効果を発揮するものではなく、10年20年という長期間を経て自身の健康状況に反映することから、幼少期からの意識付けが大切である。協会でも健康教育に関する事業展開を考えてみることも一つの手法だと思う。《学識経験者》**

**◆協会の健診や健康づくり事業においてメンタルヘルスに対する取り組みというものはあるのか。《学識経験者》**

⇒現状、直接的な取り組みはございません。ですが、冒頭挨拶でもありましたように、メンタル面に対しても何かしらのサポートが必要だと感じているところではございます。

**◆認知症予備軍に対する具体的な取り組みは行っているのか。《学識経験者》**

⇒認知症に関しては、医療計画・医療費適正化計画等の改正での対応は考えられますが、直接的な保険者としての取り組みは今のところございません。

**◆ジェネリック医薬品については、医師が変更不可としているケースもあると思うが、何か対策を考えているのか。《被保険者代表》**

⇒千葉支部ではジェネリックの使用促進に向けて医師会や薬剤師会等と連携し、保険薬局に働きかけを行う事業を計画しています。また、医師が変更不可とした処方箋については先日の中医協におけるアンケート結果では全体の約 1 割程度であったことが確認されています。多くの処方箋はジェネリックに変更不可ではないわけですから、薬局への働きかけを行うことは非常に有効ではないかと考えています。事業について進展があり次第、報告をさせていただきます。

## 2. その他報告事項について

《事務局説明概要》

今後の評議会についてですが、7月は28年度決算を議題として開催させていただきます。8月は休会となります。今後の予定も決まり次第、お知らせしますのでご承知おきください。

特記事項
・第90回千葉支部評議会傍聴者 なし
・第91回千葉支部評議会開催予定 平成29年7月18日(火) PM2:30~